

南信 中信 東信 北信



ポーランドで活躍 **伊那** 出身のピアニスト平沢さん ショパンへの敬意 旋律に

帰国後初のCD発表

ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院大学院(現ショパン音楽大学)を首席で卒業し、同国を拠点に16年間活動した伊那市上牧出身のピアニスト平沢真希さんが、国内初のCD「オマーージュ・ア・ショパン」を出した。「弾けば弾くほど深みに入る」というショパンと向き合ってきた集大成。2010年に帰国後は作曲も手掛け、天竜川などをイメージした独自曲も収めた。平沢さんは「これからへの第一歩」と話している。

3歳でピアノを始め、伊那北高校(伊那市)から東京音楽大へ。鹿児島県で開かれた国際音楽祭でグランプリを受賞、ショパン音楽院大学院に留学した。卒業後にCD3枚を制作。現在は山梨県北杜市



CDを手にする平沢さん＝伊那市

などを拠点としている。今回のCDはバラード全4曲やノクターンなど計8曲。ショパンの曲は国の複雑な歴史を背景にした激情の一方に上品さを感じるといい、旋律などが「流れる水に似ていると思う」。ショパンが生活に根付いている地で弾き方を追求し、手首の使い方など「柔軟性」を学んだという。

帰国して「自然と共に生きる日本人の精神性に感動し、「恵みへの感謝や感じたことを音で伝えて共感し合いたい」と作曲を始めた。CDに収録した「天への回帰〜龍」は、諏訪湖から流れ出る天竜川や水の循環などを表現したという。

税別2857円で県内の平安堂などで販売。ソニー・ミュージックショップのホームページからも購入できる。